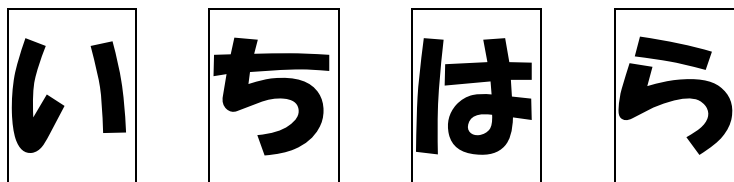


学校だより



No. 5 (R5.7.20) <https://www.chiba-c.ed.jp/ichihara-sh> 千葉県立市原特別支援学校

じゅうじつ いちがっき す 充実した一学期が過ごせました



5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され日常生活も様々な制限が緩和されてきましたが、学校生活においても感染症対策を講じながら以前の形に戻していくことと県教育委員会からの通知がありました。市原特別支援学校でも年間を通して学校行事や授業の内容も少しずつ制限緩和しながら子供たちにとって学びの深い学習活動となるよう、先生方が新たな工夫をしてくれています。

4月から新たな年度となり、数か月が経ちましたが、子どもたちは、まだ新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、新たな発想でお友達と協力しながら学習活動を充実させてきました。特に新一年生は、新たな学校や教室、新たなお友達や先生方と大きく環境が変わりましたが、すっかり市原特別支援学校の仲間となり、教室からは笑顔や歓声があふれてきます。

一学期は新しくなったプールを楽しんだり、宿泊学習や修学旅行などに向けた学習活動など今まで制限されていた活動を充実させることができています。特に小学部5年生は、どこの学部学年よりも早く1泊2日で千葉市少年自然の家での宿泊学習に臨みました。子どもたちにとっては、一生心に残る思い出でもあります。これからも丁寧に一つ一つの学校行事や学習活動を積み重ねていきたいと思います。

明日からは、長い夏休みに入ります。新型コロナウイルス感染症は収まったわけではありません。夏風邪も流行っているようです。熱中症と併せて十分にご注意ください。規則正しい生活を心がけ、健康にも気を付けながら学校以外の場所で、ぜひ、様々な経験を増やしてほしいと思います。夏休み明けには、児童生徒の皆さんからたくさんの思い出を聞かせていただけることを楽しみにしています。

(校長 原口 明雄)

今年度、新型コロナウイルス感染症対策として、スクールバス2台（マイクロバス）を県から予算をいただき運行してまいりましたが、9月以降も継続して運行する予定です。



しょうがくぶ ねんせいしゅくはくがくしゅう 小学部 5年生宿泊学習

しょうがくぶ ねんせい
小学部5年生は、7/13～14に千葉県少年自然の家へ宿泊学習に行ってきました。
さいわい もうしょ すこ
幸い、猛暑が少しおさまったので、屋外でお弁当を食べたりウォークラリーをしたりして自然に親しむことができました。初めて家庭から離れて宿泊をする子がほとんどでしたが、どの子も友達や先生と2日間楽しく過ごすことができ、さらに成長したようです。



ちゅうがくぶ 「サマーフェア」 中学部

ちゅうがくぶ
中学部では、今年度初めてとなる販売会「サマーフェア」に向けて、各班一丸となって製品を作ったり、体験活動の準備を進めたりしてきました。当日は、実行委員が中心となっていて会を盛り上げ、販売や体験活動を通して、生徒どうしの活発な関わり合いが見られました。自分の作業班以外の様子を知る機会にもなり、貴重な経験になったことと思います。



こうとうぶ 「ひまわりフェア」 高等部

こうとうぶ
高等部では、7/14（金）に、わんぱくルームにて「ひまわりフェア」を実施しました。今年度初めての作業製品販売会で、各班ともに定番から新しいものまで数多くの製品が店頭に並びました。販売では大きな声で「いらっしゃいませ」と接客したり、製品の使用方法をていねいに説明したりしながら接客をする様子が見られました。ほとんどの製品が完売になった班もあり、ひまわりフェアは大盛況でした。



つぎ とうこうぶ がつ にち きん
次の登校日は9月1日（金）です。11：30下校となります。